地方独立行政法人 知多半島総合医療機構
知多半島総合医療センター

2025年
春号

患者サポートセンターだより

知多半島総合医療センター院長　新任挨拶

この度、知多半島総合医療センターの院長を拝命しました岡田禎人でございます。
私は平成24年に当院に赴任、外科医として手術やがん治療といった仕事を行ってきました。そのほか、病院の仕事としては医療安全、臨床研修などに携わってきました。そして病院の幹部になったタイミングで新病院への移転事業にかかわることになりました。当院は半田市立半田病院として昭和57年に雁宿町から東洋町に移転し43年が経過し、施設も老朽化していましたがこの度、令和7年4月に地方独立行政法人化するとともに、名称を知多半島総合医療センターと変更し、現在の横山町に移転しました。病院は知多半島の中央部の高台に位置し、常滑市民病院とは直線距離で約3Km、車では10分弱の距離であります。当院の移転を機に、お互いのメリットを生かし機能分担するという方針のもと、両病院は経営統合、診療統合し知多半島医療機構を設立することとなりました。これに伴い常滑市民病院も当院と同じく独立行政法人化し、名称を知多半島りんくう病院と変更しました。知多半島総合医療機構は、「私たちは、地域医療の中核を担い、知多半島の人々の健康を支え続けます。」という理念を掲げており、従来の半田市、常滑市といった枠組みにとらわれず、知多半島の医療をしっかり支えていくことを目標にしています。

当院については、高機能病床の整備など新しい取り組みを行うとともに、今まで力を入れていた部門の活動はさらに充実させていく方針です。その中で患者サポートセンターは非常に重要な部門になっています。地域から急性期や重篤な患者さんを当院で受け入れ治療を行い、安定したら自宅や近隣の医療機関、介護施設に帰すという、地域全体で医療に取り組む際の中心が患者サポートセンターであると私は考えています。これからも地域の医療機関・介護施設の皆様と力をあわせてこの知多半島医療圏を支えていきたいと考えていますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

患者サポートセンター室長　新任挨拶

この度、患者サポートセンターの室長を拝命いたしました竹中利美でございます。
患者サポートセンターは6年前に半田市立半田病院に設置され、以降「医療連携」「医療相談」「入退院支援」の３本柱で患者さんを支援してまいりました。そして、今年度知多半島総合医療センターへと病院が変わり、患者サポートセンターも生まれ変わります。

これまでの「医療連携」に知多半島総合医療機構内２病院の予約を承る「総合予約センター」が加わりました。さらに、「入退院支援」では夜間緊急入院となった患者家族への支援を始めました。また、「医療相談」では新たに認定看護師による相談窓口も検討しています。新たな機能を追加して１ケ月、不慣れな点も多く、地域の皆様にはご不便をお掛けしていることもありますが、今後も地域医療支援病院として、患者さんが安心して地域で療養できるよう今後も邁進してまいります。

インターネット予約のお願い

こんな時は、是非ご相談ください！
・うまくログインできない
・予約票の出し方がわからない
・パスワードがわからなくなった

紹介患者さんのご予約は、インターネットにて取得できるようになりました。インターネット予約では、待ち時間なしで予約票が発行できますが、ＦＡＸでの予約の場合、現在待ち時間がたいへん長くなってしまっております。

患者さんの待ち時間の緩和のためにも、インターネットでの病診予約の取得にご協力お願いいたします。

インターネットでの予約がうまくできない場合は、患者サポートセンターにご連絡ください。

泌尿器科 女性専門外来閉鎖のお知らせ

医師の変更に伴い、女性の尿漏れ、尿失禁、膀胱瘤専門外来は終了しました。骨盤臓器脱による失禁については他院へご紹介ください。産婦人科症例を疑う場合は当院産婦人科へご紹介ください。
ご理解、ご協力をお願いいたします。

2024年度　紹介率・逆紹介率

紹介率：　86.6%　　逆紹介率：　124.0%

いつも、ご紹介ありがとうございます。

公式SNSのご紹介
当院からいろんな情報をお届け！
ぜひ、フォローお願いいたします

当院HP　YouTube　Instagram

【問い合わせ先】
知多半島総合医療センター
患者サポートセンター
0569-89-0515（代表）
cmc-kansapo@chitahantogmo.or.jp